

ジュニアリーダー夢議会



10月15日(火)、ジュニアリーダー夢(JLD)議会が開催され、大津市内の3つの中学校と3つの県立学校から10名が参加しました。
次代を担う若者が町長に対し直接質問や提案を行うことで、政治を身近に感じる機会となりました。
質問は町で生活・通学する中で感じた課題を、町の計画などに照らし合わせながら提案に結び付けていく、よく考えられている内容でした。
若者視点で課題をとりえ、解決するためのアイデアが盛り込まれており、一度で終わるにはもったいない印象でした。
また、学生の中には去年に続き参加した学生もあり、頼もしさを感じました。

●大津北中学校

「環境に配慮したエネルギー活用について」

宮崎 千寛 議員

【質問】①企業と連携し室外機で発電できる機械の導入、②カーポートでの太陽光発電、③自転車や公共交通機関を利用し二酸化炭素排出を減らす取り組みを提案します。



そして、環境に優しい町づくりを行うために、エネルギーの活用や使用料の削減などを推進する政策について質問します。

川邊 絵美菜 議員

【感想】今回、「ソーラーカーポート」は環境省の支援政策があることを知りました。今後、積極的に商業施設や企業などに案内を出して取り組みが進めばいいと思います。



た。一人ひとりが少しずつ身の回りのことについて考えると、もっと過ごしやすいまちになると思います。

●大津中学校

「学校給食の課題と改善について」

渡辺 実咲 議員

【質問】学校給食の課題となる残滓を減らすために①味の工夫、②給食の献立のバリエーションを増やす、③パンとの相性の良い献立を提案します。



また、給食センターのスペース確保のためにセンターの増築もしくは、もう一つセンターを建設する考えはありませんか。

濱田 慧斗 議員

【感想】残滓は食べる側と提供する側のどちらか一方だけの問題ではなく、双方で努力をしていく必要があると感じました。今後、栄養と味のバランスを取りながら、美味しい給食を提供して下さることを期待しています。



また、給食センターの名前ももう少し親しみのあるものに改名し周知すれば、役割を十分に発揮できると思います。

●大津支援学校

「大津町の交通安全について」

酒井 拍羽 議員

【質問】自力で支援学校へ登校する生徒からの①見通しのよくない道路へのカーブミラーの設置、②道路のわだちを減らし安全安心な道路整備を、③安全に通学するための自転車専用道路の設置などの意見があります。この3点を踏まえて、大津町の交通安全の考え方を質問します。



【感想】カーブミラー設置は区長さんや交通安全協会が関係することを初めて知りました。横断歩道をカラー化することで視認性を向上できるとの案を聞いて、歩行者の安全について考えられていると感じました。道路拡幅計画や、自転車専用道路の整備計画は通学者にとって大きな安心材料になると思います。これからも地域全体でよい町づくりができるように、私達も交通ルールを守り協力したいと思っています。

石坂 凪央 議員

【感想】サイクロケープルの設置については、設置する場合は法律により道路の幅を変えなければならぬということも理解しました。今後は大津町から阿蘇の間にあるサイクリングコースのように観光資源になれるといいのではないかと思います。また、坂道があることで健康促進や体力維持にもつながり、決して悪いことばかりではないということもわかり、よりよい町づくりにについて考える機会になりました。



また、ビジターセンターの名前ももう少し親しみのあるものに改名し周知すれば、役割を十分に発揮できると思います。

●大津高等学校

「坂道の不便さの改善と新たな視点での活用について」

山下 輝希 議員

【質問】大津町に坂が多いことによる生活の不便性の改善と、それに伴う観光資源の確保について、普段の生活の利便性を向上させるためにサイクロケープルという自転車リフト等を設けることはできませんか。観光の点でも意味があると考えます。



【感想】サイクロケープルの設置については、設置する場合は法律により道路の幅を変えなければならぬということも理解しました。今後は大津町から阿蘇の間にあるサイクリングコースのように観光資源になれるといいのではないかと思います。また、坂道があることで健康促進や体力維持にもつながり、決して悪いことばかりではないということもわかり、よりよい町づくりにについて考える機会になりました。

松本 碧心 議員

【感想】今後、学生の考えるピクトグラムを採用が可能とされた場合『誰でも過ごしやすい大津町』ピクトグラムコンテストを提案します。



また、ピジターセンターの名前ももう少し親しみのあるものに改名し周知すれば、役割を十分に発揮できると思います。

●翔陽高等学校

「外国人移住者や観光客支援、通学・通勤者支援について」

阿南 来夏 議員

【質問】肥後大津駅周辺まちづくり基本構想を参考に観光面・通学面で利用しやすいように、「北口」「南口」それぞれの場所にあるかなど記載されている看板の設置を提案します。その際、多言語表示や町内の学生が考えたピクトグラムを掲示するとさらに良いと思います。また、公式インスタグラムや公式ラインの機能の更なる活用も提案します。



また、ピジターセンターの名前ももう少し親しみのあるものに改名し周知すれば、役割を十分に発揮できると思います。

梅田 莉帆 議員

【感想】今後、学生の考えるピクトグラムを採用が可能とされた場合『誰でも過ごしやすい大津町』ピクトグラムコンテストを提案します。



また、ピジターセンターの名前ももう少し親しみのあるものに改名し周知すれば、役割を十分に発揮できると思います。